

令和5年度 愛顔のふれあいフェスタ

愛媛県立しげのぶ特別支援学校

1. 目的 交流を通して、生徒間の相互理解や友情を深めるとともに、共生の心を育てる。
2. 日時 令和5年10月18日(水) 10:55～11:45
3. 参加者 東温市立重信中学校1年3組生徒 37名、本校中学部1～3年生(I・Ⅲ類型) 16名
4. 活動内容 オンラインによる交流…①学校紹介 ②学校クイズ ③校歌紹介

活動内容



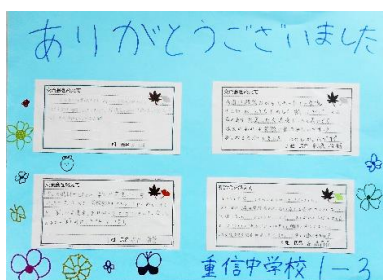
【学校紹介】

生徒数やスクールバス、自動ドアなど、学校の特色についてプレゼンテーションソフトを使って発表しました。



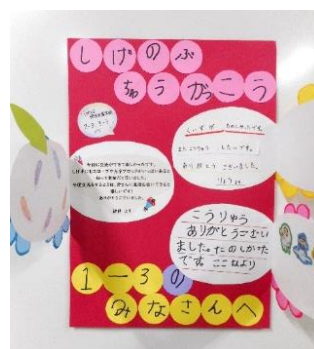
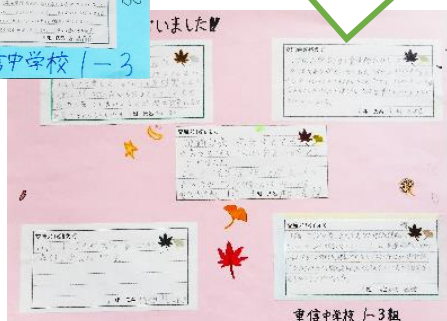
【学校クイズ】

エレベーターの数や学校内でスロープが設置してある場所など、バリアフリーの視点でクイズを考え、お互いに出題しました。



【お礼状の作成】

交流する中で気付いたこと、学んだことなどを手紙に書いて送り合いました。

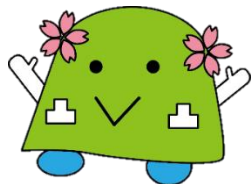


ふれあいフェスタを終えて

感染症等の対策のため、今回の交流はオンラインでの実施となりましたが、顔を見せ合い、言葉を交わし合ったことで、友情が深まり、お互いの存在をより身近に感じる事ができました。事後の手紙交流では、「バリアフリーや学校環境についてしっかり考えるきっかけになった。」「同じ地域で学習する同年代の生徒同士、これからも仲良くしたい。」などの内容がたくさんありました。互いを知り、共生の心を育む良い交流となりました。

れいわ ねんど えがお
令和5年度愛顔のふれあいフェスタ

愛媛県立今治特別支援学校



今治特別支援学校キャラクター
さくらっぶちゃん

開閉会式



開閉会式では、児童生徒会役員を中心に司会・進行等を行いました。参加者は、整然とした雰囲気の中、お互いに顔を見合わせながら、各グループ代表の挨拶等に真剣に耳を傾けていました。

音楽発表



音楽発表では、音楽部が「第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会」や「ねんりんピック愛顔のえひめ2023音楽文化祭」でも演奏した「アナザーデイオブサン」という曲を披露し、日頃の活動の成果をアピールしました。「全員が息の揃った演奏に感動した。」という賞賛の声をたくさんいただきました。

ボッチャ交流



ボッチャ交流では、まず、各チームに分かれて作戦タイム（自己紹介やリーダー・順番決め、練習等）を行いました。自らリーダーを引き受けたり、作戦を話し合ったりして協力する姿が多く見られました。

ボッチャ大会では、両チームが対面に位置し、中心の的に一番近い場所へ球を転がしたチームの勝利というルールでゲームを行いました。積極的に投げ方や方向等をチームメイトに教えたり、ハイタッチして賞賛したりして、共に力を合わせる姿が多く見られました。結果発表では、自分やチームメイトの「良かったところ」を積極的に発表し合いました。

ふれあいフェスタを終えて

参加した放課後等デイサービスの職員さんからは、「普段は見られない学校での子どもたちの様子が見られて良かったです。」「以前勤めていた放デイの児童が、高校生になって音楽部で演奏していて、ビックリしました。皆と合わせて演奏している姿に感動しました。」という感想がありました。今回の音楽発表やボッチャ交流等を通して、各自が自分の良さを発揮し、互いの個性を知り尊重し合う良い機会となりました。